

(人を対象とする医学系研究に関する倫理指針に則る情報公開)

このたび以下の研究を実施いたします。本研究への協力を望まれない場合は、問い合わせ窓口へご連絡ください。研究に協力されない場合でも不利益な扱いを受けることは一切ございません。

本研究の研究計画書及び研究の方法に関する資料の入手又は閲覧をご希望の場合や個人情報の開示や個人情報の利用目的についての通知をご希望の場合も問い合わせ窓口にご照会ください。なお、他の研究参加者の個人情報や研究者の知的財産の保護などの理由により、ご対応・ご回答ができない場合がありますので、予めご了承ください。

【研究計画名】 AI(機械学習)を用いた筋病理診断支援システム開発

【研究責任者】 神経研究所疾病研究第一部 西野一三

【本研究の目的及び意義】

日本アイ・ビー・エム株式会社、京都大学、Siriraj 病院および高雄醫學大學との共同で、AI(機械学習)を用いた筋病理診断支援システム開発を行います。これは、筋病理標本を撮影した画像から自動的に病理診断ができるシステムの開発を目指すものです。このシステムの開発が成功すれば、将来的には、筋病理専門医がいない地域であっても、インターネットを介して自動診断が行えるようになること期待されます。

この筋病理診断支援システム開発には、これまでに提供してきた筋病理診断サービスで作製された標本の写真を使用し、日本アイ・ビー・エム株式会社の人工知能(AI)システムに機械学習を行わせます。本システム開発で使用するデータは病理写真と診断名のみであり、個人を特定できる情報は使用しません。

【本研究の実施方法及び参加いただく期間】

対象となる方

1978年より倫理委員会承認日までの間に、国立精神・神経医療研究センターメディカル・ゲノムセンター(MGC)に筋生検検体が送付され、筋病理診断を受けられた方。なお、MGC 発足以前に、神経研究所微細構造研究部(診断責任者: 埜中征哉)、DNA 診断情報室(診断責任者: 埜中征哉)、疾病研究第一部(診断責任者: 西野一三)、DNA 診断治療室(診断責任者: 西野一三)、TMC 診療開発部(診断責任者: 西野一三)で受け付け、筋病理診断を行った例を含みます(診断責任者: 西野一三または埜中征哉)。

利用する試料・情報等

情報等: 筋病理画像、診断名

研究期間

2017年12月15日より2023年3月31日まで

【共同研究機関】

日本アイ・ビー・エム株式会社 研究責任者 高野敦司

京都大学大学院医学研究科附属ゲノム医学センター 研究責任者 松田文彦

Siriraj 病院 研究責任者 Pornsuk Cheunsuchon

高雄醫學大學 研究責任者 Wen-Chen Liang

2021年8月

○問い合わせ窓口

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター神経研究所

所属 疾病研究第一部 氏名 西野一三

電話番号

e-mail: nishino※ncnp. go. jp (「※」を「@」に変更ください。)

○苦情窓口

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター倫理委員会事務局

e-mail: ml_rinrijimu※ncnp. go. jp (「※」を「@」に変更ください。)